

閣甲五二

昭和九年七月十二日

内閣書記官長

内閣書記官

昭和九年七月九日  
昭和九年七月三日公布

内閣總理大臣 山

法制局長官



外務大臣

山

陸軍大臣

山

文部大臣

山

逓信大臣

山

内務大臣

山

海軍大臣

山

農林大臣

山

鐵道大臣

山

大藏大臣

山

司法大臣

山

商工大臣

山

拓務大臣

山

昭和六年乃至九年事變從軍記章令起案上申ス依テ

別紙ノ通閣議決定セラレ可然ト認ム

勅令案

法制局

並美濃紙(白井納)

別紙ノ通

朕昭和六年乃至九年事變從軍記章令ヲ裁  
可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和九年七月二十一日

内閣總理大臣

勅令第百二十五號

昭和六年乃至九年事變從軍記念章令

第一條 昭和六年乃至九年事變記念、表章ト  
シテ特ニ從軍記念章ヲ設ク

第二條 從軍記念章、圖式左ノ如シ

章

青銅圓形徑三糎トシ表面ニ菊御紋背光  
及上代、楯ニ止リタル鷄ノ圖ヲ鑄出シ裏  
面ニ陸海軍、鐵兜及櫻花ノ圖ヲ鑄出シ昭和六  
年乃至九年事變、十字ヲ識ス

飾版

青銅トシ表面ニ從軍記念章、四字ヲ

識ス

鈕 青銅トシ表面及裏面ニ日蔭蔓ノ

圖ヲ鑄出ス

綬

織地幅三釐六耗トシ中央濃紅色、其、

左右内側ヨリ各黃色、淺紅色、緋褪

色、紅海老茶色トス

從軍記章ハ綬ヲ用ヒテ左肋ニ佩ブ

第三條

從軍記章ハ左、各號、一ニ該當スル者

ニ之ヲ授與ス

一 事變地ニ在リテ軍務ニ從事シ又ハ軍事

ニ關スル特別ノ任務ヲ受ケテ事變地ニ往復  
シタル陸海軍軍人軍屬及文官

二 事變地ニ臨マザルモ動員部隊若ハ事變  
ノ爲臨時編成シタル部隊ニ編入セラレ又ハ  
事變ニ關スル軍務ニ從事シタル陸海軍軍人  
軍屬

三 事變ニ關スル軍務ニ從事シタル陸海軍  
官用船舶又ハ病院船ノ乗組船員

四 陸海軍官憲ノ監督ヲ受ケ事變ニ關スル  
傷病者、救護ニ從事シタル者

前項各號ノ一ニ該當スル者ト雖モ傭役人夫ノ類又ハ之ニ準ズベキ下級船員等ニ在リテハ特殊ノ軍務ニ服シ且功績アル者ニ非ザレバ從軍記章ヲ授與セズ

第四條 事變ニ關スル軍務ヲ幫助シ特ニ功績アル者又ハ許可ヲ得テ從軍シタル者ニハ特ニ從軍記章ヲ授與スルコトアルベシ

第五條 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニハ從軍記章ヲ授與セズ但シ刑ノ執行ヲ猶豫セラレタル者及陸軍刑法又ハ海軍刑法ニ依リ一

年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ニハ其ノ情狀ニ依リ之ヲ授與スルコトアルベシ

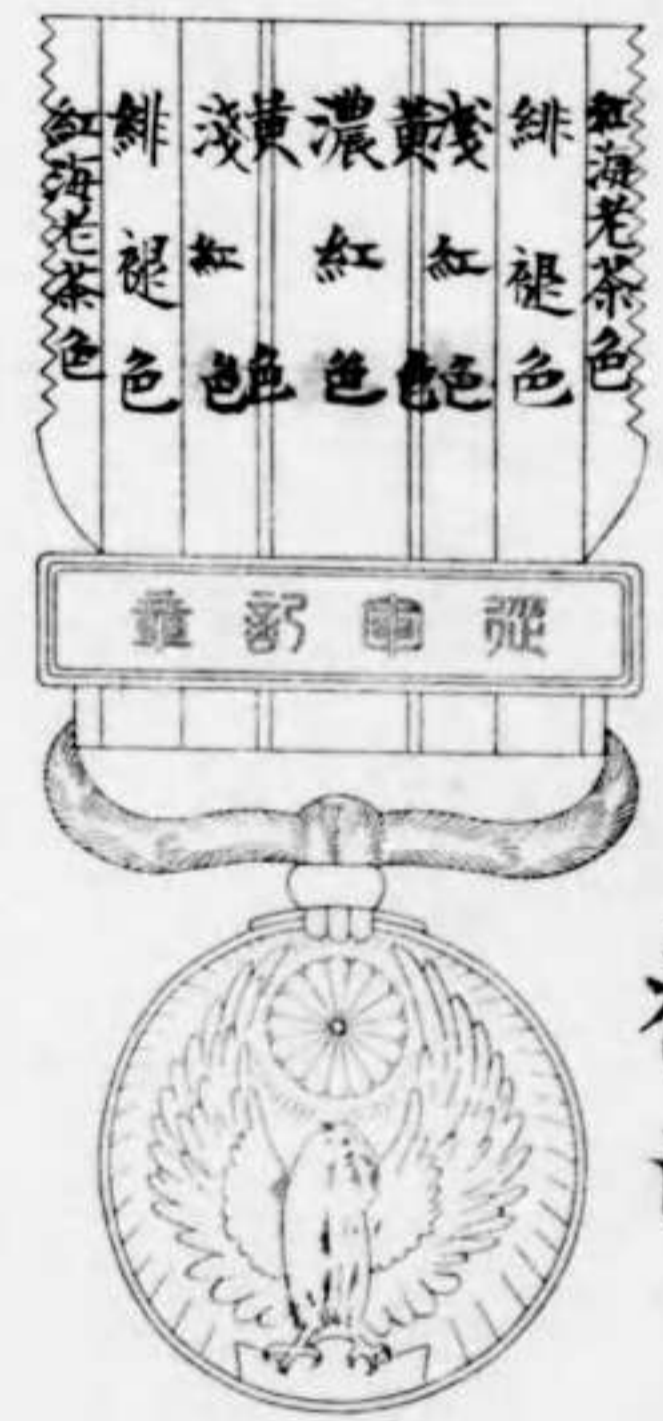
第六條 懲戒ノ裁判又ハ處分ニ依リ免官又ハ免職セラレタル者ニハ從軍記章ヲ授與セズ但シ其ノ情狀ニ依リ之ヲ授與スルコトアルベシ  
第七條 前二條ノ規定ハ處刑、免官又ハ免職ノ後第三條又ハ第四條ノ規定ニ該當スル者ニ付テハ之ヲ適用セズ

第八條 從軍記章ヲ授與セラルベキ者ニ對シテハ其ノ授與前死亡シタルトキト雖モ仍之

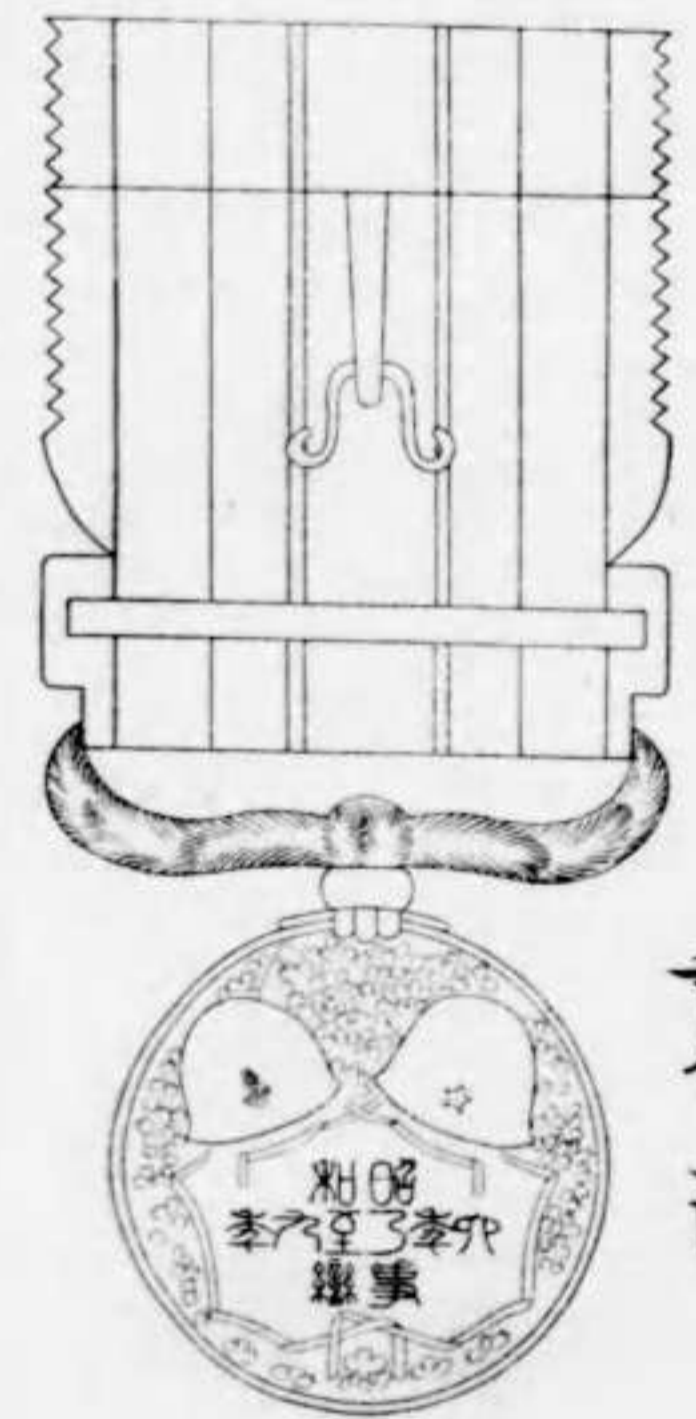
ヲ授與ス

第九條 從軍記章ハ本人ニ限リ終身之ヲ佩用  
シ遺族之ヲ保存スルコトヲ許ス

昭和六年乃至九年事變從軍記章ノ圖



表面



裏面

理由書

今回ノ支那事件ニ付從軍シ又ハ軍事ニ關シ  
功績アル者ニ對シ從軍記章ヲ制定シテ之ヲ  
授與スルノ必要アルニ由ル

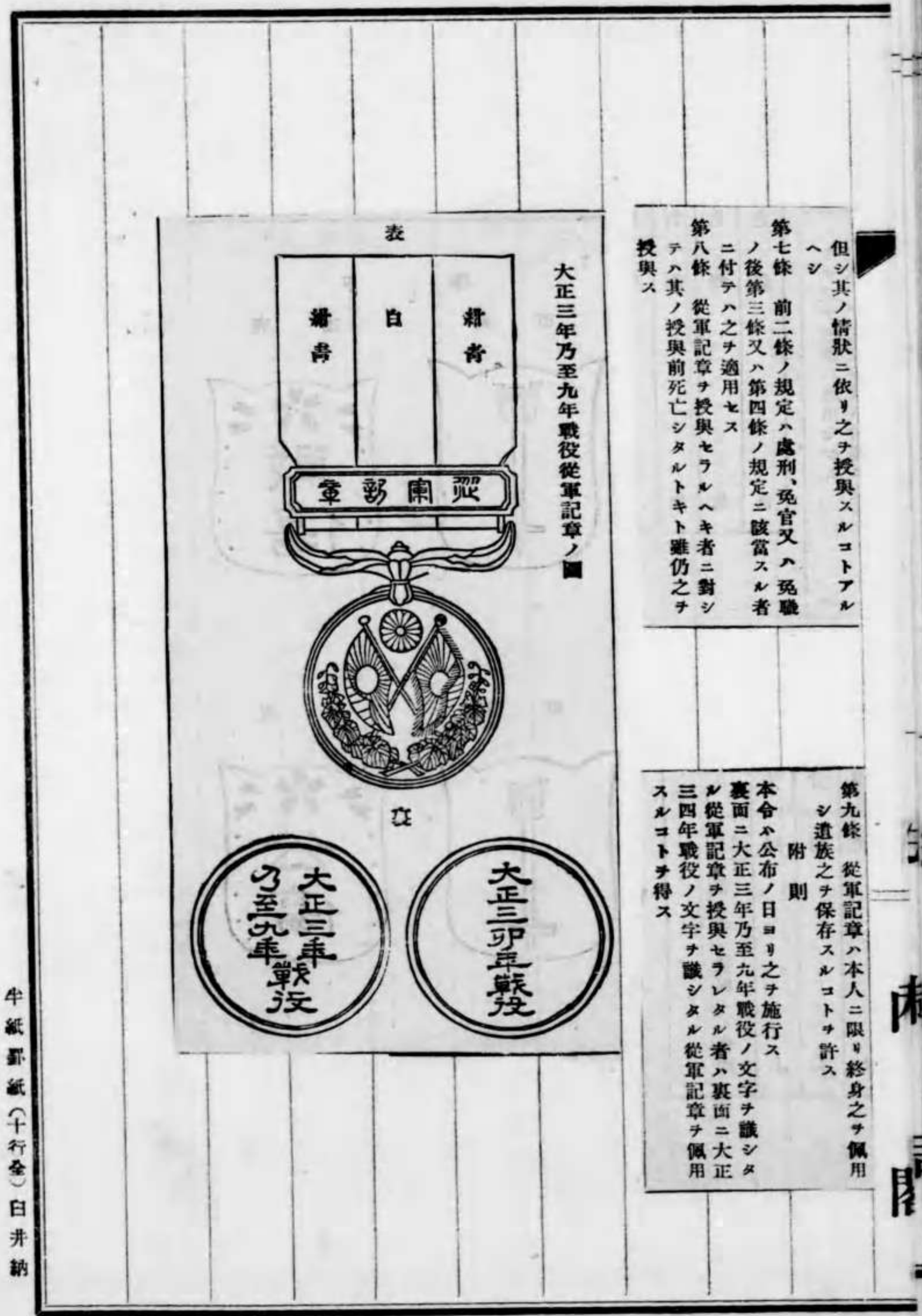
法  
制  
局





但シ其ノ情狀ニ依リ之ヲ授與スルコトアル  
 第七條 前二條ノ規定ハ處刑、免官又ハ免職  
 ノ後第三條又ハ第四條ノ規定ニ該當スル者  
 ニ付テハ之ヲ適用セズ  
 第八條 從軍記章ヲ授與セラルヘキ者ニ對シ  
 テハ其ノ授與前死亡シタルトキト雖仍之ヲ  
 授與ス

第九條 從軍記章ハ本人ニ限リ終身之ヲ佩用  
 シ遺族之ヲ保存スルコトヲ許ス  
 附則  
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
 裏面ニ大正三年乃至九年戰役ノ文字ヲ識シタ  
 ル從軍記章ヲ授與セラレタル者ハ裏面ニ大正  
 三四年戰役ノ文字ヲ識シタル從軍記章ヲ佩用  
 スルコトヲ得ス



半紙郵紙(十行全)白井納

從軍記章ノ圖式ニ付テ

一章ニ付テ

1. 表面

金 鷄

聖戰又ハ正義ノ軍ノ意  
 其ノ構圖ハ從前ノ從軍記章構圖ヲ  
 採用ス

上代楯

防勢ノ意

以上ニ依リ今回ノ事變ノ特異性ヲ表現ス

背 光

皇威四海ニ振フ意

2. 裏面

櫻 花

大和心ノ意

鐵 兜

陸海軍、新兵器、防禦等ノ意

尚今回ノ事變ノ特異性ヲ表現ス

二、鈕ニ付テ

ひかげのかづら 月桂樹ニ比スヘキ日本上代ヨリノ芽出

度植物ニシテ今回ノ事變ノ榮譽ヲ表  
現ス

三、綬ニ付テ

紅色 大和民族ノ赤誠心及日章旗ノ意  
黄色 滿洲國ノ意

以上ニ依リ我國カ滿洲國ヲ擁護シテ東洋  
平和ノ確立ヲ為シタル今回ノ事變ヲ意味ス

賞勳局第一六五號

昭和九年七月十日 内閣書記官長

内閣總理大臣

賞勳局總裁



今回ノ事變ハ從前ノ戰役ニ比スヘキ  
重大性ヲ有スト認ムルヲ以テ右事變  
記念ノ表章トシテ從軍記章ヲ制  
定セラレ可然ト存候ニ付勅令案ヲ  
具シ此段允裁ヲ仰ク

閣中五二

賞勳局

賞  
典  
后

(白井稿)

勅令案

昭和六年乃至九年事變從軍記章令

第一條 昭和六年乃至九年事變紀念ノ表章

トシテ特ニ從軍記章ヲ設ク

第二條 從軍記章ノ圖式左ノ如シ

章

青銅圓形徑三種表面ニ菊御紋背光及

上代ノ楯ニ止リタル鷄ノ圖ヲ鑄出シ裏面

ニ陸海軍ノ鐵兜及櫻花ヲ鑄出シ昭和

六年乃至九年事變ノ十字ヲ識ス

飾、版

青銅表面ニ從軍記章ノ四字ヲ識ス

鈕

青銅表面及裏面ニ日蔭蔓ノ圖ヲ鑄

出ス

綬

織地幅三種六耗中央濃紅色、其ノ左

右内側ヨリ各黄、浅紅、緋褪色、紅海  
老茶色

從軍記章ハ綬ヲ用ヒテ左肋ニ佩ブ

### 第三條

從軍記章ハ左ノ各號ノ一ニ該當ス者

ニ之ヲ授與ス

- 一、事變地ニ在リテ軍務ニ從事シ又ハ軍事ニ關スル特別ノ任務ヲ受ケテ事變地ニ往復シタル陸海軍軍人軍屬及文官
- 二、事變地ニ臨マザルモ動員部隊若ハ事變爲臨時編成シタル部隊ニ編入セラレ又ハ事變ニ關スル軍務ニ從事シタル陸海軍軍人軍屬
- 三、事變ニ關スル軍務ニ從事シタル陸海軍官用船舶又ハ病院船ノ乗組船員

四、陸海軍官憲ノ監督ヲ受ケ事變ニ關スル

傷病者ノ救護ニ從事シタル者

前項各號ノ一ニ該當スル者ト雖傭役人夫ノ類又ハ之ニ準ズベキ下級船員等ニ在リテハ特殊ノ軍務ニ服シ且功績アル者ニ非ザレバ從軍記章ヲ授與セズ

### 第四條

事變ニ關スル軍務ヲ幫助シ特ニ功

績アル者又ハ許可ヲ得テ從軍シタル者ニハ特ニ從軍記章ヲ授與スルコトアルベシ

### 第五條

禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニハ從軍

記章ヲ授與セズ、但シ刑ノ執行ヲ猶豫セラレタル者及陸軍刑法又ハ海軍刑法ニ依リ一年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ其ノ情狀ニ

依リ之ヲ授與スルコトアルベシ

第六條 懲戒ノ裁判又ハ處分ニ依リ免官又ハ

免職セラレタル者ニハ從軍記章ヲ授與セズ但

シ其ノ情狀ニ依リ之ヲ授與スルコトアルベシ

第七條 前二條ノ規定ハ處刑、免官又ハ免職

ノ後第三條又ハ第四條ノ規定ニ該當スル者ニ

付テハ之ヲ適用セズ

第八條 從軍記章ヲ授與セラレベキ者ニ對シテハ

其ノ授與前死亡シタルトキト雖仍之ヲ授與ス

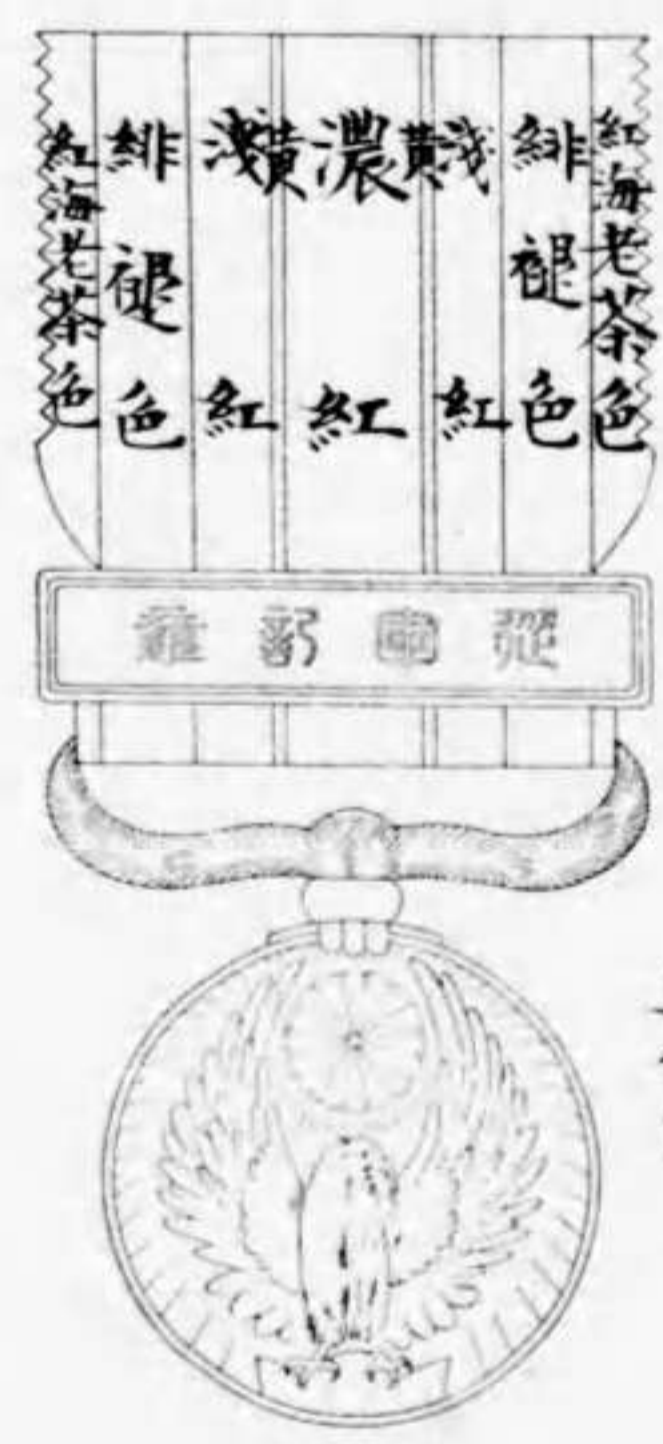
第九條 從軍記章ハ本人ニ限り終身之ヲ佩

用シ子孫之ヲ保存スルコトヲ許ス

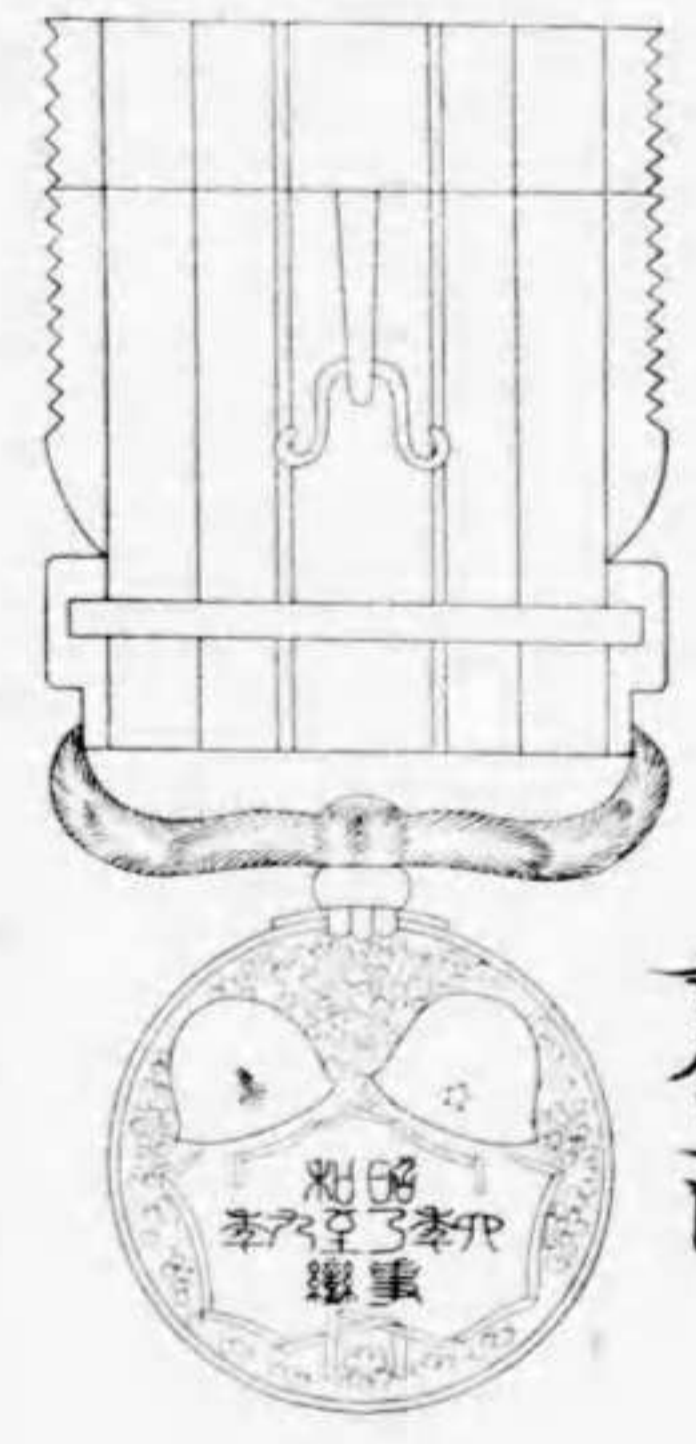
附則

本令ハ昭和九年四月二十九日ヨリ之ヲ適用ス

昭和六年乃至九年事變從軍記章ノ圖



表面



裏面

參照

大正三年乃至九年戰役從軍記章令

(大正四年十月六日勅令第二百三號)

大正九年三月勅令第四號改正

朕大正三年乃至九年戰役從軍記章令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

大正三年乃至九年戰役從軍記章令

第一條 大正三年乃至九年戰役記念ノ表章トシテ特ニ從軍記章ヲ設ク

第二條 從軍記章ノ圖式左ノ如シ

章

銅圓形徑一寸表面上部ニ菊御紋章中央ニ陸軍聯隊旗及海軍軍艦旗、交架下部兩側ニ桐樹花枝ノ圖ヲ鑄出シ裏面ニ大正三四年戰役ノ七字ヲ識ス但シ大正九年二月以後ニ於テ授與スル從軍記

章ノ裏面ノ文字ハ大正三年乃至九年戦役ノ十字トス

飾版 銅表面ニ従軍記章ノ四字ヲ識ス

鈕 銅

綬 織地幅一寸二分中央自左右紺青

従軍記章ハ綬ヲ用ヰテ左肋ニ佩フ

第三條

従軍記章ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ之ヲ授與ス

一 戦地ニ在リテ軍務ニ従事シ又ハ軍事ニ關スル特別ノ任務ヲ受ケテ戦地ニ往復シタル陸海軍軍人軍屬及文官

ニ 戦地ニ臨マサルモ動員部隊若ハ戦役ノ關ノ爲臨時編成シタル部隊ニ編入セラレ又ハ戦役ニ關スル軍務ニ従事シタル陸海軍軍人軍屬

三 戦役ニ關スル軍務ニ従事シタル陸海軍官用船舶又ハ

病院船ノ乗組船員

四 陸海軍官憲ノ監督ヲ受ケ戦役ニ關スル傷病者ノ救護ニ従事シタル者

前項各號ノ一ニ該當スル者ト雖傭役人夫ノ類又ハ之ニ準スヘキ下級船員等ニ在リテハ特殊ノ軍務ニ服シ且功績アル者ニ非サレハ従軍記章ヲ授與セス

第四條 戦役ニ關スル軍務ヲ幫助シ特ニ功績アル者又ハ許可ヲ得テ従軍シタル者ニハ特ニ従軍記章ヲ授與スル

コトアルヘシ

第五條 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニハ従軍記章ヲ授與

セス但シ刑ノ執行ヲ猶豫セラレタル者及陸軍刑法又ハ海軍刑法ニ依リ一年未滿ノ禁錮ニ處セラレタル者ニハ其ノ情狀ニ依リ之ヲ授與スルコトアルヘシ

第六條 懲戒ノ裁判又ハ處分ニ依リ免官又ハ免職セラレタル者ニハ從軍記章ヲ授與セス但シ其ノ情狀ニ依リ之ヲ授與スルコトアルヘシ

第七條 前二條ノ規定ハ處刑、免官又ハ免職ノ後第三條又ハ第四條ノ規定ニ該當スル者ニ付テハ之ヲ適用セス

第八條 從軍記章ヲ授與セラルヘキ者ニ對シテハ其ノ授與前死亡シタルトキト雖仍之ヲ授與ス

第九條 從軍記章ハ本人ニ限り終身之ヲ佩用シ遺族之ヲ保存スルコトヲ許ス

附則

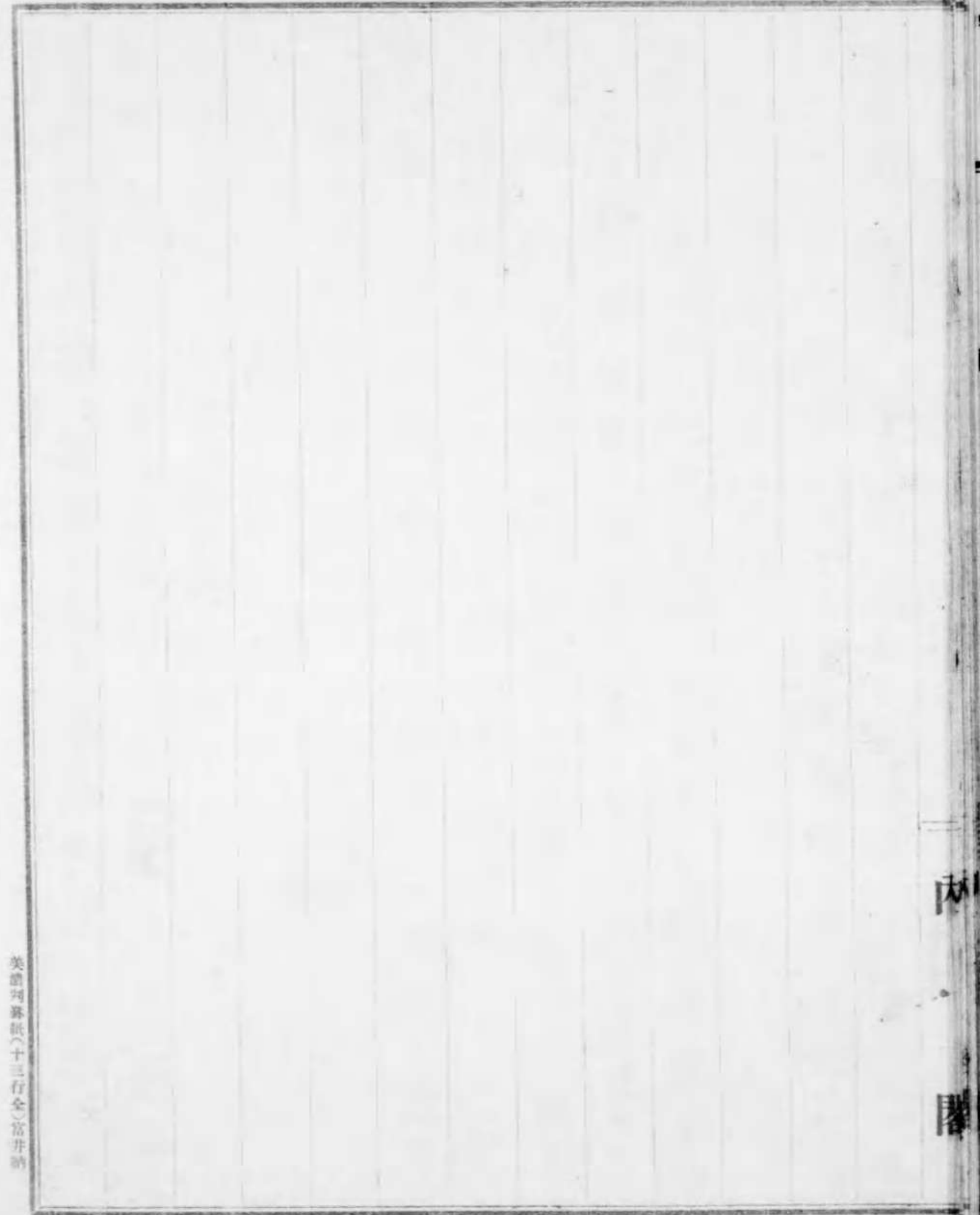
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

裏面ニ大正三年乃至九年戰役ノ文字ヲ識シタル從軍記章ヲ授與セラレタル者ハ裏面ニ大正三四年戰役ノ文字ヲ識

英律刊行第百三十三号全書九頁

シタル從軍記章ヲ佩用スルコトヲ得ス





閣甲五三

昭和九年七月十七日決裁

昭和九年七月二十三日公布

昭和九年七月十二日

内閣書記官長

内閣書記官

内閣總理大臣 印

法制局長官 印

昭和六年乃至九年事變從軍記  
章授與規程起案上申入依テ別  
紙、通閣令公布ノコトニ決定  
相成可然ト認ム

閣令案

別紙、通